

令和元年度 第2回健康づくり支援部会 議事録(案)

日 時：令和2年2月19日(水) 19時40分～20時25分

場 所：市役所本庁舎 10階 第4会議室

会議次第

1 開会

2 会議

(1) 前回会議の議事録(案)の確認

(2) 令和2年度 健康推進課関係予算(案)について

(3) その他

3 閉会

出席委員： 阿部厚憲委員、吉村典子委員、山本勝弘委員、金須俊雄委員、前田玲専門委員
岸田智子専門委員、小川誠専門委員

欠席： 角谷巍啓専門委員

事務局： 五十嵐保健福祉センター館長、野原課長補佐

○事務局

お晩でございます。ただいまから、令和元年度第2回健康づくり支援部会をはじめさせていただきます。

本日の委員の出席は、健康づくり支援部会委員8名中、7名のご出席をいただいております。出席人数が委員の過半数を超えていますことから、本日の部会は成立しております。

これより議事の進行につきましては、阿部部会長にお願いいたします。どうぞよろしく願います。

○部会長

それでは、会議に入らせていただきます。

最初に、前回会議の議事録(案)の確認について議題といたします。確認していただいた中で意見はありますか。

○委員

特にありません。

○部会長

それでは、議事録は案のとおり了承されました。

次に、令和2年度 健康推進課関係予算(案)について議題といたします。

事務局から、説明願います。

○事務局

令和2年度の健康推進課関係予算（案）につきまして、説明させていただきます。

資料は1～5になります。

予算の発表が一昨日であったため、当日配布資料となっておりますが、よろしく願いいたします。

まず、資料1から順に説明させていただきます。令和2年度の健康推進課関係予算であります。予算額と対前年度の増減額の推移を記載しております。まず、表の右側に令和2年度予算を記載しております。

この中で職員給与費へ振替分としてBと記載している欄があります。こちらにつきましては、来年度から地方公務員法・地方自治法の一部改正により、これまでの嘱託職員等のうち多くの職員が会計年度職員に移行することから、今まで担当課で予算措置しておりました報酬等の予算が、職員給与費として職員課所管の予算に移行となります。

この額が、合計で3,149万円ございますので、前年との比較のために職員給与費の額を加味したC欄を設けております。

左側の事業区分と、右側の令和2年度予算額につきましては、A欄をご覧いただきたいと思っております。

まず、上から、

保健衛生総務費が、3億1,394万2千円、

そのうち、主なものでは、

保健衛生推進費 7,352万円

食・運動改善推進費 86万8千円

公衆浴場対策費 1,511万5千円

看護師等養成機関確保対策費 8,041万円

帯広厚生病院運営費補助事業費 2億90万円

すこやかネット事業費 435万6千円

などとなっております。

前年度と比較しての増減の主なものといたしましては、保健衛生推進費におきまして、令和元年度は「日本農村医学会学術総会」への開催地補助として、100万円の支出がございましたが、令和2年度は、開催地補助の該当が無いことにより、減となっております。

また、帯広厚生病院運営費補助が、3,080万円の増となっておりますが、こちらは、新病院建設による、病床数との増加と、特別交付税単価の増によるものです。

続きまして、

夜間急病診療費は、1億5,637万3千円となっております。

内訳といたしましては、休日夜間急病センターの管理運営費が、8,045万6千円で、234万8千円の増、在宅当番や二次救急医療などの救急医療対策費が7,591万7千円で、56万8千円の減となっております。

休日夜間急病センター管理運営費が増となっている理由といたしましては、平成29年度から令和3年度の5か年契約となっている中で、医師の給料のベースアップ等により、毎年委託料が増えることを見込んでいるためでございます。救急医療対策費の額につきましては、令和元年度は5月の大型連休や祝日など、例年より休日が多かったことにより予算が増えていたた

め、これと比較すると減額となっているものです。

続きまして、

予防費は、総額で 5 億 2, 6 4 5 万 1 千円となっております

主なものといたしましては、

がん検診・健康診査費 1 億 4, 1 9 6 万円、

予防接種費 3 億 1, 1 1 2 万 2 千円、

感染症予防費 6, 9 6 9 万 4 千円、

健康教育費 3 0 0 万 2 千円、

などとなっております。

増減につきましては、まず、がん検診・健康診査費が、4 0 2 万 6 千円の増となっております、受診者の増を見込んでおります。予防接種費につきましては、令和 2 年 1 0 月からロタウイルスワクチンの定期接種化が行われること、また、4 0 歳から 5 7 歳の男性の風疹抗体価検査及び、風疹予防接種予算等の増などにより、2, 5 2 3 万 1 千円の増となっております。

感染症予防費につきましては、インフルエンザ予防接種や高齢者の肺炎球菌予防接種の増を見込み、6 8 7 万 5 千円の増となっております。

次に、保健福祉センター費として、2, 4 8 9 万 2 千円を計上しております。こちらは、「保健福祉センター」の管理運営に要する費用でございます。

以上、総事業費は、A 欄の歳出予算合計 1 0 億 2, 1 6 5 万 8 千円となります。

続きまして、資料 2、「令和 2 年度 健康推進課関係事業の概要」をご覧ください。こちらは、資料 1 の内訳となります。

左側の、保健衛生総務費は、3 億 1, 3 9 4 万 2 千円で、医療体制の整備や医療の人材不足への対応のほか、公衆浴場対策、健康まつりや健康づくりのボランティアの養成、育成など市民の保健予防の推進のための予算となっております。

中央の、予防費は、5 億 2, 6 4 5 万 1 千円で、胃がん、肺がん、子宮がん、乳がん、大腸がんの 5 大がんの検診のほか、各種健康診査、予防接種や感染症予防、結核予防など疾病の予防、早期発見のための経費と、健康相談、健康教育、訪問指導の経費を計上しております。

健康教育費には、令和 2 年度の新たな取り組みといたしまして、後ほどご説明いたしますが、「健康マイレージ事業」を計上しております。

右側の夜間急病診療費は、1 億 5, 6 3 7 万 3 千円で、休日や夜間の救急医療を確保するものです。

二次救急医療につきましては、消防広域化も踏まえ、当番病院を十勝医師会へも情報共有するなどの体制が取られているところですが、帯広市の二次救急当番病院について、管内町村住民の利用割合が約 4 割を占めている現状となっていることから、その体制維持のため、三次救急同様十勝全体での支援体制が必要と考えております。

次に、保健福祉センター費として、2, 4 8 9 万 2 千円を計上しております。こちらは、保健福祉センターの管理運営に要する費用でございます。

一旦ここまでとさせていただきます。

○部会長

ただいまの事務局の説明につきまして、何かご質問やご意見はございますか。

○委員

今までの職員給与費はどこに入っているのですか。

○事務局

今までの分は総額の中に全部入っています。Aの中に今現状の予算が入っていて、この中から職員給与費分294万3千円の分が職員費の方に振り替えられていますので、前年度と比較するならCと比較することになります。前年の分はこの給与費が保健衛生総務費の全体に含まれますので、前年はこの対前年比を見ていただければわかります。これと比較すると、10.6%の増となります。

○委員

訪問看護促進費では、どのようなことを行っているのですか。

○事務局

こちらは、訪問看護の北海道在宅ケア事業団への負担金として毎年70万円を計上しています。

○委員

帯広市に対してどんな仕事をしているのですか。

○事務局

これまで訪問看護の不採算部門を担っていただいております、また、潜在看護師の養成研修を実施しております。

○委員

公衆浴場利用促進事業補助金の中身はどうなっているのですか。

○事務局

公衆浴場活性化推進という部分で公衆浴場の利用の活性化を図る事業を行う帯広浴場組合に対して補助金を交付しています。公衆浴場確保対策事業というのは北海道の示す基準入浴客数に満たない市内の公衆浴場に対して、ランク別に補助金を交付する事業です。

○委員

身体障害者体力向上費がなくなっているのはなぜですか。

○事務局

その事業につきましては、衛生費という部分から障害福祉課の方に移行したものでございま

す。事業の方はやっております。

○部会長

その他、質問はございませんか。なければ、次の説明をお願いします。

○事務局

続きまして、資料3をご覧くださいと思います。

健康マイレージ事業でございます。18歳以上の市民を対象に、スマートフォンアプリを活用し、がん検診などの受診や歩数計活用による歩数量の増加など、健康にかかわる取り組みに対してポイントを付与し、特典が得られる事業となっております。令和2年9月からの開始を予定しております。

企業に協力いただき、特典として飲食店のメニューの一部割引やスポーツ観戦チケット等をご提供いただくとともに、企業ぐるみでこの事業に参加していただくことで、従業員の健康増進や企業のイメージ向上にもつながるものと考えております。

次に、資料4をご覧ください。ロタウイルスワクチンの定期接種化についてでございます。腸からの水の吸収が阻害され、下痢症状を発症する「ロタウイルス胃腸炎」を予防するものです。

令和2年10月から定期接種に追加になります。対象となるのは、令和2年8月生まれ以降の方で、ワクチンの接種方法等につきましては、ご覧のとおりであります。

説明は以上でございます。

○委員

予算のことで健康マイレージ78万9千円ですが、具体的にどう使われるのですか。

○事務局

具体的にはこのアプリを契約する業者の委託料と、ポスターなどで周知を考えていますのでそちらの印刷製本費、周知用の紙ですとかそういった事務費になります。広報おびひろに掲載する予定なので広報のお金も見込んでおります。

○委員

アプリは帯広市が作られるものですか？

○事務局

帯広市が作るものではなく、既にあるアプリです。歩数のアプリは一般的にたくさんあって、健康づくりのために取り入れられている方々もいます。それは自分の健康づくりのために進めてもらって構わないです。

帯広市がやろうとしていることは、これを使って歩こうというきっかけづくりを帯広市が旗あげしてやるというものです。色々なアプリ会社がある中で、こちらの会社はかなり融通がきく、たとえば検診をこのアプリから申し込むといったカスタマイズをするのにもあまりお金がかからないことから、市としてはこのアプリを利用して企業をふやしていき、多くの市民がこ

のアプリを利用していただけるようにこれから取り組んでいこうと思っています。

○委員

ロタウィルスについては、保育所などが本当に苦勞している、大きなお子さんも対象にさせていただいて、みんなが受けられるといいと思うがどうでしょうか。

○事務局

国が定期接種と認めるものについて対象になっています。予防接種も対象年齢が決まっています。

○委員

小さな子どもがいるご家庭はお金もかかるので、定期の対象でなくても公費で受けられるようにしていただきたいです。

○事務局

予防接種も定期接種となって次から次へといろいろなものが出てきて、その予算措置は必ず行っていますが、プラスアルファというふうにはなかなか難しいところではあります。

○委員

自治体によっては、公費で負担しているところもある。子ども産むならこの町でとか、生活するならここでとか、自治体が打ち出していますよね。帯広市も頑張ってくださいと思います。

○事務局

ご意見として伺います。

○委員

健康マイレージ事業のポイントは、補助金ではなく、企業が協力してポイントを還元してくれるのですか。

○事務局

歩数に応じてそのものに見合った商品に交換できるような仕組みです。

○委員

どういう種類の企業が参加するのでしょうか？

○事務局

様々です。飲食店もありますし、スーパーなどもあります。

○委員

協力される企業さんの種類により、参加される方も増えるか増えないが大きく左右されると

思いますが。

○事務局

皆さんがよく利用するところに帯広市がお声かけしながら、協力をいただくこととなりますが、すでにスマートライフプロジェクトにも色々な企業が参加していて、感触では前向きに協力いただけそうだなというところです。

まず、ダウンロードしていただいて、いっぱい歩いてポイントを貯めていただきたいと思います。

○部会長

他に質問、意見はありますか。なければ、その他について、事務局から説明をお願いします。

○事務局

それでは、一番最後の資料、第八期帯広市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の策定について概要を説明させていただきます。

こちらは3年に1度この計画を策定して見直しするサイクルですが、来年度令和2年度が見直し、策定の時期になっております。計画策定の目的と法的根拠ですが、この計画はいわゆる団塊の世代が後期高齢者になる2025年から2040年まで高齢者人口が増加するなど、高齢化が一層進む中で、地域で高齢者の生活を支える地域包括ケアシステム推進に向けて老人保健法、介護保険法に基づいて地域の特性に応じた目指すべき基本方向、取り組むべき施策を明らかにすることを目的として策定するものになります。

計画の性格としましては第七期帯広市総合計画及び第三期帯広市地域福祉計画の分野計画とし、高齢者保健福祉計画と介護保険事業計画を一体のものとして策定します。また策定にあたり、北海道が策定する高齢者保健福祉計画介護保険事業計画や医療計画など関連する諸計画との整合性を図っていくものです。

計画の期間ですが、さきほど説明しましたように、3年度から令和5年度までとして策定します。第八期計画につきましては第七期計画中の高齢者福祉事業ですとか介護保険事業等をめぐる環境の変化の把握とともに第7期計画における介護給付実績、総合事業の評価、高齢者保健福祉政策の施行状況の検証、日常生活圏域のニーズなどについても調査いたします。地域包括ケアシステムの推進のために第七期帯広市総合計画の取り組みを検証、発展させるとともに、給付と負担の在り方ですとか、圏域のバランスなどの調整を図りながら、計画を策定する。

計画の策定のスケジュールですが、計画の審議、とりまとめについてはこの部会においておおむね6回の審議を経て、計画原案をまとめて、審議会において計画案の審議をいただいて、了承をいただきたいと思いますと考えております。このときにこの部会と高齢者部会の合同部会ということで年6回程度審議いただきますことから、皆様にはこういう形で集まる機会が増えますが、どうぞよろしく願いいたします。

○部会長

その他、連絡事項は何かありますか。

○委員

特になし。

○事務局

次回の健康づくり支援部会は、健康生活支援審議会の実施もありますので、部会長と相談のうえ、改めてご案内をさせていただきますのでよろしくお願いします。

○事務局

それでは、以上で予定されている議事は終了いたしました。

本日は、これで閉会といたします。お疲れ様でした。